

超域文学特論Ⅰ

選択 2単位

大野 雅子

1. 授業の概要(ねらい)

この授業においては、ヨーロッパの文学と芸術における「愛」のテーマを探究する。イタリア・ルネッサンスにおいて、ティツィアーノが描いた「聖なる愛」と「俗なる愛」、ボッティチェリが描いた「天上の美」と「地上の美」。「宮廷風恋愛」は突如として12世紀のフランスに誕生したと言われる。イギリス文学の歴史を辿れば、ヨーロッパ的「天上の女性像」は、シェイクスピアのロマンス劇に見られるような「結婚愛」によって止揚され、18世紀に至ると、プロテスタンティズムが「ロマンティック・ラヴ」の観念を生み出す。一方、愛と死との両面価値的関係性は「エロス」として奥底に流れ続ける。その怪しげな魅力は日本の三島由紀夫をも捉えた。また、フロイトの言う「ヒステリー」が女性特有のもものとされるのもエロスと関係が深い。このように、ヨーロッパに脈流のように流れる複数の「愛」の伝統を主要な文学作品と批評とを渉猟しながら学んでゆく。

2. 授業の到達目標

1. ヨーロッパの文学と芸術についての知識を修得する。
2. ヨーロッパの文学と芸術における「愛」のテーマを学ぶ。
3. 批評的観点から文学作品を読むことによって思考力を養う。
4. 英語の速読力を身につける。

3. 成績評価の方法および基準

授業内提出物20%、期末テスト20%、発表60%

4. 教科書・参考文献

参考文献

高階秀爾 ルネッサンスの光と闇 中公文庫
パノフスキー イコノロジー研究(上下) ちくま学芸文庫
C.S.ルイス 愛とアレゴリー 筑摩叢書
三島由紀夫 春の雪 新潮文庫
ジョン・ミルトン 失楽園(上下) 岩波文庫
ブロイアー、フロイト ヒステリー研究 ちくま学芸文庫
ジョルジュ・バタイユ エロティシズム ちくま学芸文庫
ポール・ド・マン 盲目と洞察 月曜社
ロマン・ヤコブソン ヤコブソン・セレクション 平凡社
アウエルパッハ ミメシス(上下) ちくま学芸文庫

5. 準備学修の内容

毎回の授業で発表できるように準備する。

6. その他履修上の注意事項

授業は学生の発表が中心である。受け身的に知識を得ようとするのではなく、自ら探究する精神が重要である。

7. 授業内容

- 【第1回】 授業説明
- 【第2回】 ティツィアーノの「聖なる愛と俗なる愛」における「天上の愛」と「地上の愛」
- 【第3回】 ボッティチェリの「ヴィーナスの誕生」と「春」におけるネオ・プラトニズム
- 【第4回】 『バラ物語』における愛
- 【第5回】 宮廷風恋愛
- 【第6回】 C.S.ルイスの批評:愛のアレゴリー
- 【第7回】 バタイユの批評:エロティシズム
- 【第8回】 三島由紀夫における禁忌と性
- 【第9回】 ロマンティック・ラヴの誕生
- 【第10回】 ポール・ド・マンの批評:アレゴリーとシンボル
- 【第11回】 ヤコブソンの批評:メタファーとメトニミー
- 【第12回】 アウエルパッハの批評:ミメシス
- 【第13回】 ミルトンの『失楽園』におけるアダムとイヴ
- 【第14回】 フロイトの批評:女性とヒステリー
- 【第15回】 まとめと期末テスト